

名称

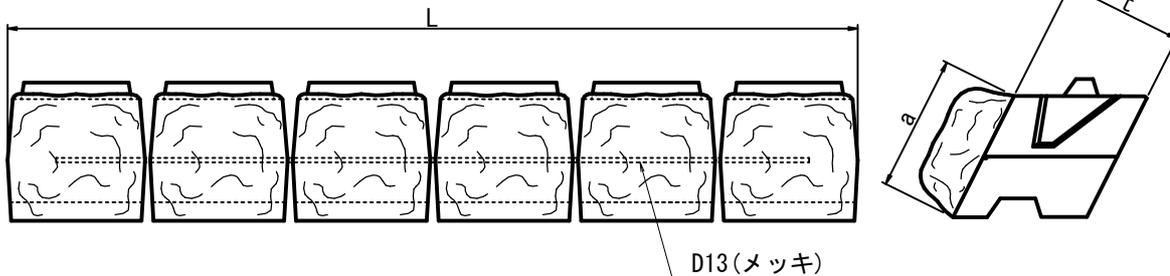
擬石型積ブロック

標準設計番号

共-VI-7

工種記号

RG



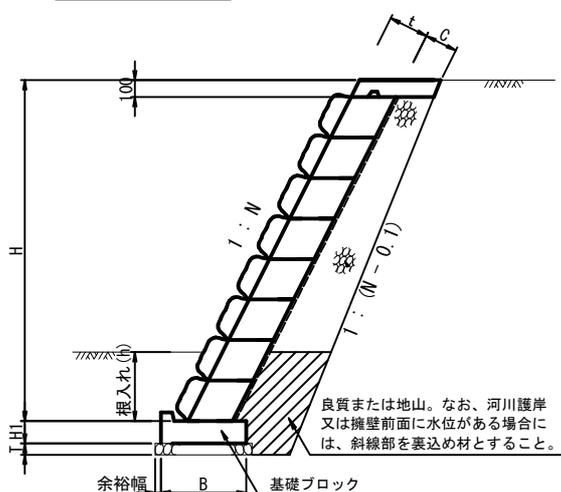
呼び名	寸法 (mm)			1ヶ当り 占有面積	質量
	L	a	t		
t350	500~2500	400~	350以上	1.0m ² 以上	350kg/m ² 以上
許容差	±5	±5	+10, -5	-	-

特記事項

- ・詳細は、「環境配慮型ブロック設計資料(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・ $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・鉄筋は SD295Aとする。
- ・面模様は自由とする。

参考図表

標準断面図



裏込め材料計算一般式 (m²)

擁壁前面に水位がない場合

$$A = \frac{(H-h-0.1)}{2} \left(2c\sqrt{1+N^2} + 0.1(H-h+0.1) \right)$$

河川護岸または擁壁前面に水位がある場合

$$A = \frac{(H+H_1+t-0.1)}{2} \left(0.1^2 + 2c\sqrt{1+N^2} + 0.1(H+H_1+T) \right)$$

名称

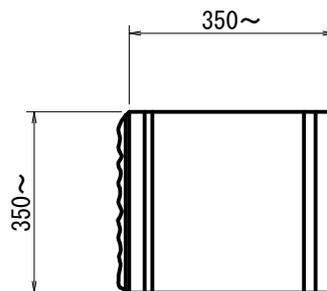
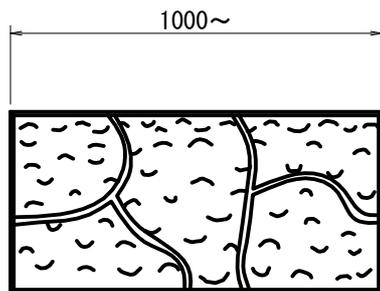
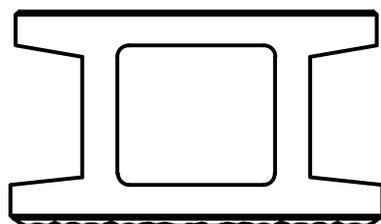
中空型積ブロック

標準設計番号

共-VI-8

工種記号

RC



参考質量 (kg/m²)

350以上

寸法許容差

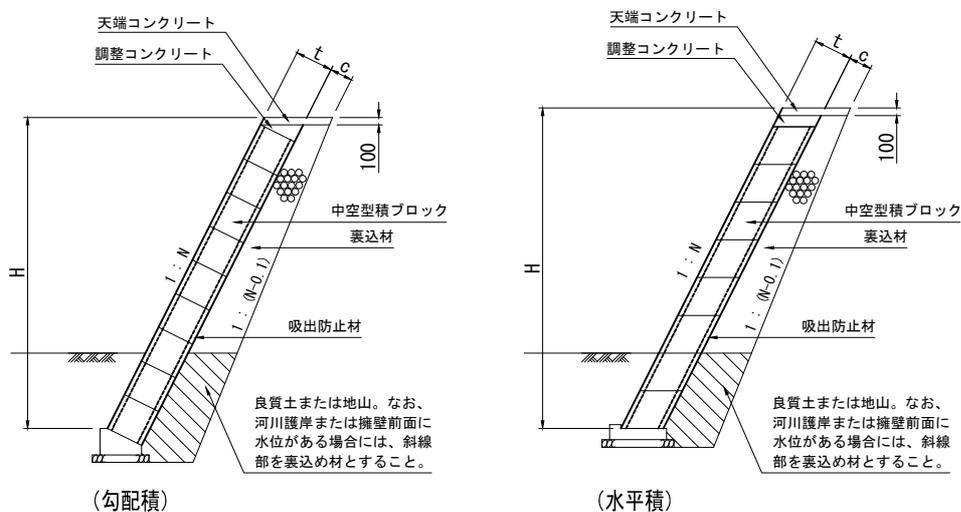
面	控え
±5	+10, -5

特記事項

- ・ 詳細は、「環境配慮型ブロック設計資料(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・ $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$ 以上。
- ・ 表面模様は自由とする。
- ・ ブロック 1 個当りの法面積 (法長方向) は 0.5 m^2 以上とする。
- ・ 水平積構造もこれに含む。

参考図表

標準構造図



裏込め材厚さ (mm)	C
裏込め材が良好な場合	200
裏込め材が普通な場合	300

名称

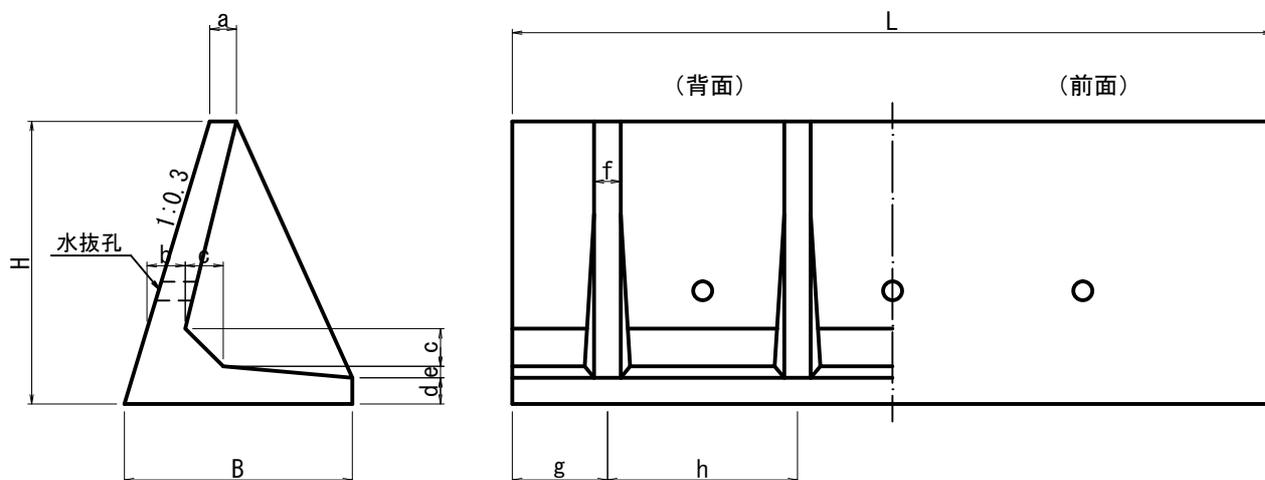
法先ブロック

標準設計番号

共-VII-1

工種記号

NW

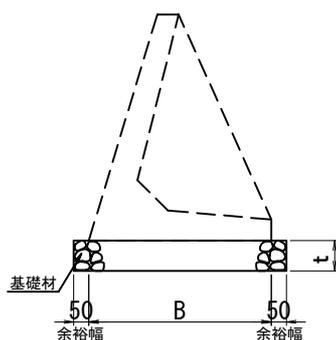


呼び名	寸法 (mm)											参考質量 (kg)
	H	B	a	b	d	c	e	f	g	h	L	
500	500	450	70	70	70	70	-	70	250	500	2000 1000	355 178
750	750	600	70	100	70	100	30	70	250	500	2000 1000	644 322
許容差	±3					-					+5, -3	-

特記事項

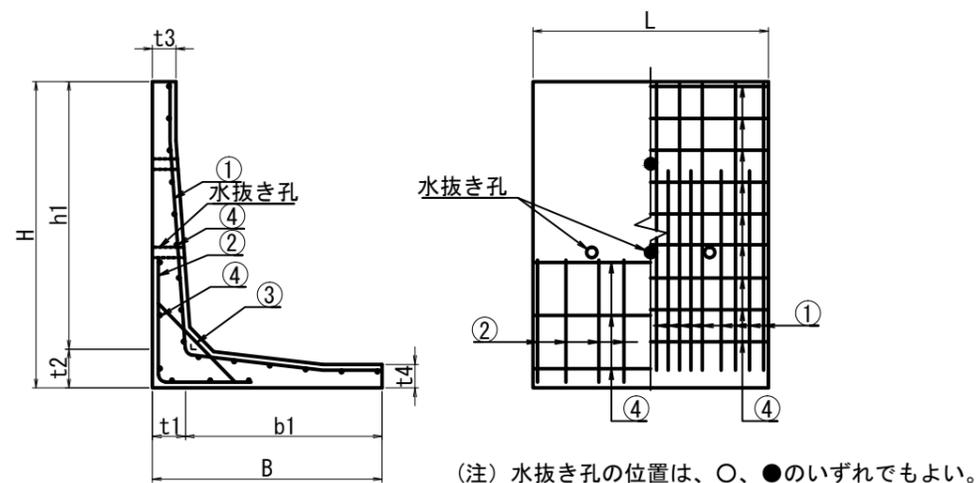
- ・ $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$ 以上。
- ・ L寸法については、500mmとすることができる。この場合、控壁は中央に1箇所設けること。

参考図表



項目	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m ³)
呼び名	50	100	0.055
500			0.070
750			

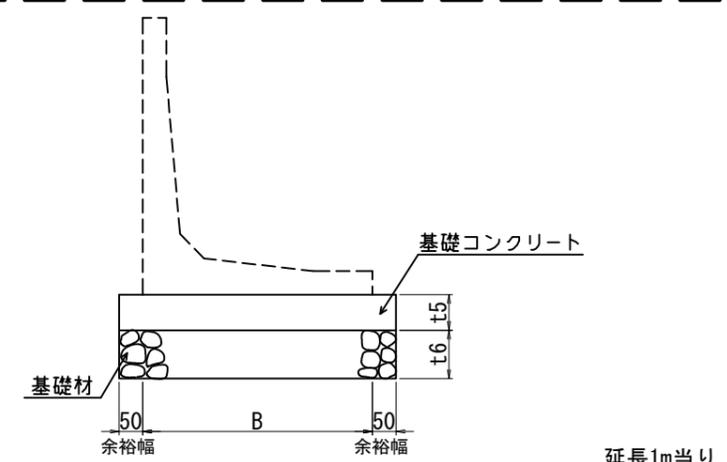
名称	L型擁壁	標準設計番号	共-VII-2
		工種記号	LW



特記事項

- ・ $\sigma_c k = 30N/mm^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は、SD295Aとする。
- ・ 底版にグラウト注入用の小径の孔を設けることができる。

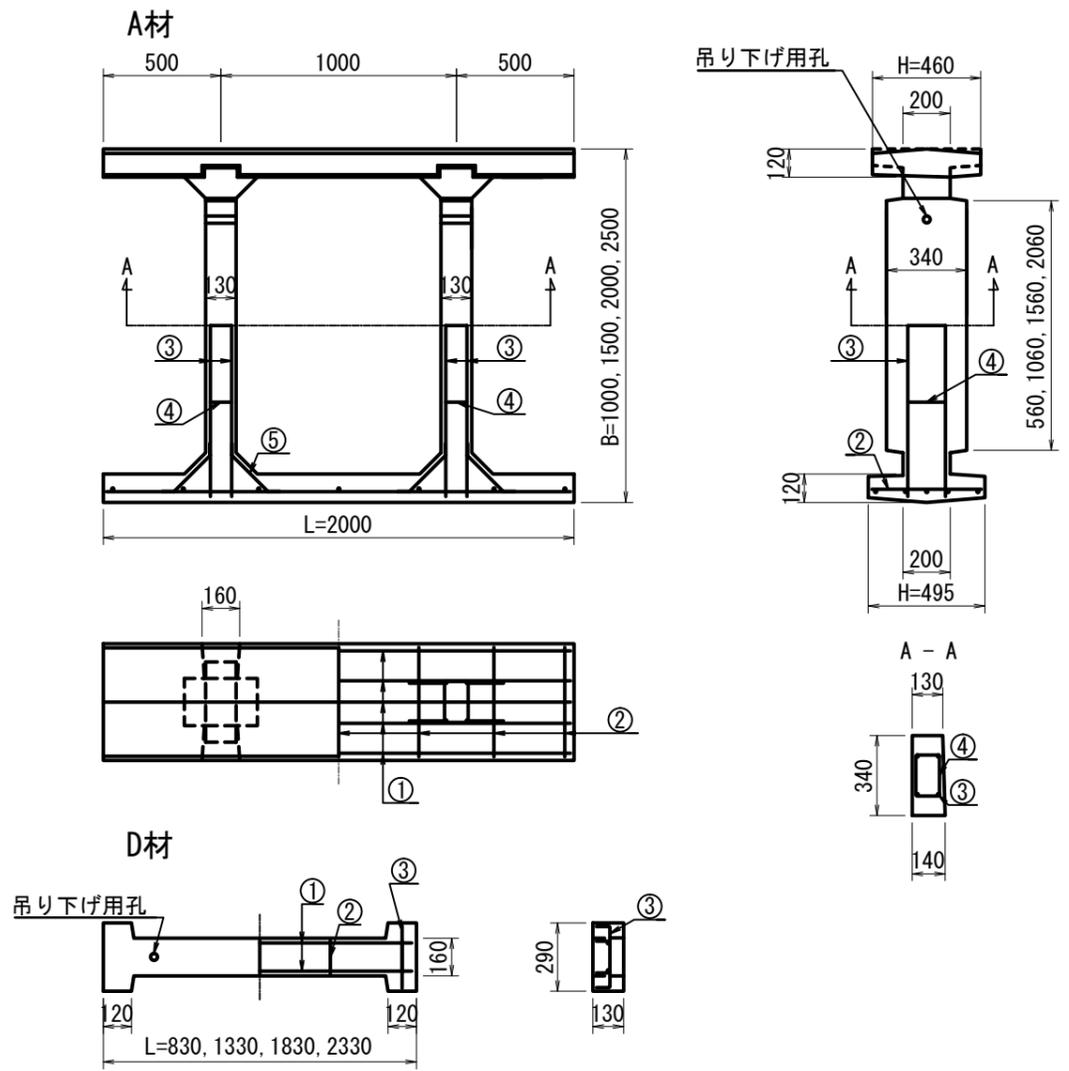
参考図表



呼び名	寸法 (mm)										鉄筋				参考質量 (kg)
	H	B	h1	b1	t1	t2	t3	t4	L	①		④			
										径	本数	径	本数		
1000	AI	800	700							D6	21	D6	11	1750	
	AII	1000	900							D6	21	D6	11	1950	
	BI	850	750	100	100	100	100	4000	D6	29	D6	15	1800		
	BII	1200	1100							D6	29	D6	15	2150	
1500	CI	1250	1150							D6	33	D6	17	2200	
	AI	1050	925							D10	21	D10	11	2740	
	AII	1300	1175							D10	21	D10	11	2990	
	BI	1200	1075	125	125	100	100	4000	D10	25	D10	13	2890		
2000	BII	1400	1275							D10	25	D10	13	3090	
	CI	1550	1425							D10	33	D10	17	3240	
	AI	1300	1150							D10	33	D10	17	3930	
	AII	1550	1400							D10	33	D10	17	4180	
2500	BI	1500	1350	150	150	100	100	4000	D10	41	D10	21	4130		
	BII	1700	1550							D10	41	D10	21	4330	
	CI	1850	1700							D13	29	D13	15	4480	
	AI	1600	1420							D13	26	D13	14	5460	
3000	AII	1800	1620							D13	26	D13	14	5660	
	BI	2500	1750	180	180	100	100	4000	D13	34	D13	18	5610		
	BII	2000	1820							D13	34	D13	18	5860	
	CI	2150	1970							D13	42	D13	22	6010	
3500	AI	1850	1625							D13	34	D13	18	7500	
	AII	2100	1875							D13	34	D13	18	7750	
	BI	3000	2050	225	225	100	100	4000	D13	42	D13	22	7700		
	BII	2300	2075							D13	42	D13	22	7950	
4000	CI	2450	2225							D16	34	D16	18	8100	
	AI	2150	1850							D13	17	D13	9	6110	
	AII	2350	2050							D13	17	D13	9	6260	
	BI	3500	2050	300	300	150	150	2000	D13	21	D13	11	6260		
4500	BII	2600	2300							D13	21	D13	11	6450	
	CI	2700	2400							D16	17	D16	9	6520	
	AI	2400	2100							D16	17	D16	9	6670	
	AII	2600	2300							D16	17	D16	9	6820	
5000	BI	4000	2350	300	300	150	150	2000	D16	21	D16	11	6860		
	BII	2900	2600							D16	21	D16	11	7050	
	CI	3000	2700							D16	25	D16	13	7120	
	許容差	+10 -5	—			+5 -2		+10 -5						—	

呼び名	項目	基礎コンクリート余裕幅 (mm)	基礎コンクリート厚 t5 (mm)	コンクリート (m³)	型枠面積 (m²)	基礎材余裕幅 (mm)	基礎材厚 t6 (mm)	延長1m当り	
								基礎材 (m³)	基礎材 (m³)
1000	AI	50	100	0.090	0.200	50	200	0.180	0.220
	AII			0.110	0.200			0.190	0.260
	BI			0.095	0.200			0.270	0.330
	BII			0.130	0.200			0.230	0.280
1500	CI	50	100	0.135	0.200	50	200	0.260	0.300
	AI			0.115	0.200			0.280	0.330
	AII			0.140	0.200			0.260	0.300
	BI			0.130	0.200			0.330	0.390
2000	BII	50	100	0.150	0.200	50	200	0.280	0.330
	CI			0.165	0.200			0.320	0.360
	AI			0.140	0.200			0.390	0.450
	AII			0.165	0.200			0.280	0.330
2500	BI	50	150	0.160	0.200	50	200	0.320	0.360
	BII			0.180	0.200			0.340	0.380
	CI			0.195	0.200			0.370	0.420
	AI			0.255	0.300			0.420	0.450
3000	AII	50	150	0.285	0.300	50	200	0.380	0.420
	BI			0.278	0.300			0.450	0.510
	BII			0.315	0.300			0.440	0.480
	CI			0.338	0.300			0.490	0.550
3500	AI	50	150	0.293	0.300	50	200	0.390	0.430
	AII			0.330	0.300			0.480	0.510
	BI			0.323	0.300			0.450	0.490
	BII			0.360	0.300			0.510	0.560
4000	CI	50	150	0.383	0.300	50	200	0.440	0.480
	AI			0.338	0.300			0.490	0.540
	AII			0.368	0.300			0.540	0.560
	BI			0.368	0.300			0.560	0.600
4500	BII	50	150	0.405	0.300	50	200	0.540	0.600
	CI			0.420	0.300			0.550	0.620
	AI			0.375	0.300			0.550	0.600
	AII			0.405	0.300			0.600	0.620

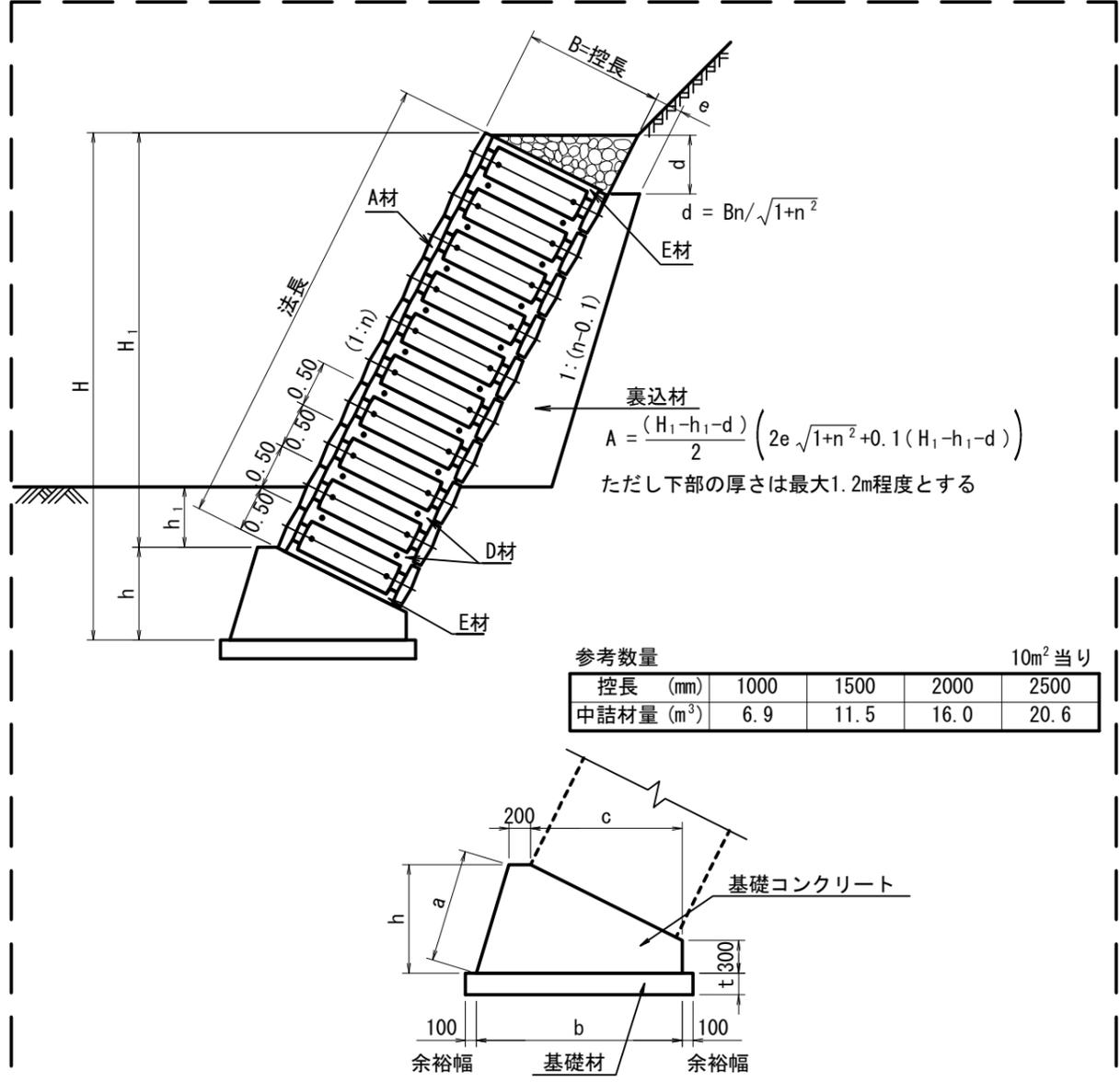
名称	井桁擁壁(フレーム型)	標準設計番号	共-VII-4
		工種記号	IW



呼び名	寸法 (mm)	鉄筋										参考 質量 (Kg)
		①		②		③		④		⑤		
A材	B	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	
	1000											638
	1500	D10	10	D10	14	D10	8	5		D10	16	748
	2000											858
D材	1000											52
	1500	D10	2	5	2							77
	2000											102
	2500											127
許容差 (mm)		B±3、H±3、L±5										

特記事項
 ・ $\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$ 以上。
 ・鉄筋は、SD295A及びJIS G 3532に規定する鉄線とする。

参考図表



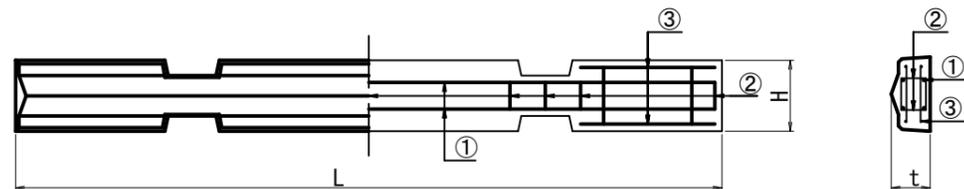
控長 (mm)	項目 n	h (mm)	a (mm)	b (mm)	c (mm)	基礎コン クリート (m ³)	基礎 型枠面積 (m ²)	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m ³)
1000	0.3	600	608	1300	1000	0.600	0.908	100	200	0.300
	0.4	680	687	1250	950	0.636	0.987			0.290
	0.5	750	776	1300	900	0.698	1.076			0.300
1500	0.3	750	757	1800	1500	0.975	1.057	100	200	0.400
	0.4	860	883	1800	1400	1.070	1.183			0.400
	0.5	1000	1044	1900	1400	1.260	1.344			0.420
2000	0.3	900	906	2300	2000	1.425	1.206	100	200	0.500
	0.4	1060	1089	2350	1900	1.637	1.389			0.510
	0.5	1200	1265	2400	1800	1.830	1.565			0.520
2500	0.3	1020	1031	2750	2400	1.865	1.331	100	200	0.590
	0.4	1240	1276	2850	2350	2.244	1.576			0.610
	0.5	1450	1534	3000	2300	2.665	1.834			0.640

名称	井桁擁壁(組合せ型)	標準設計番号	共-VII-5
		工種記号	IC

I 型

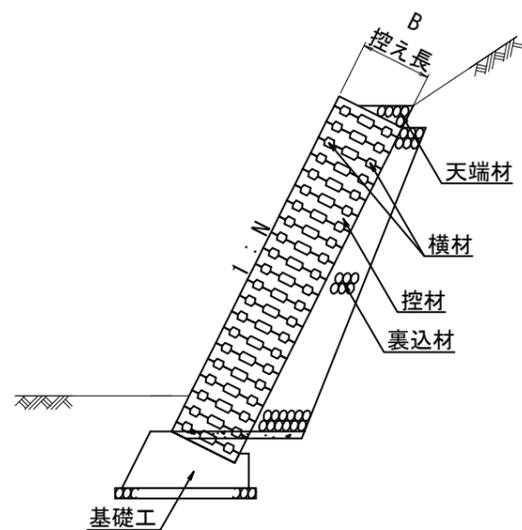
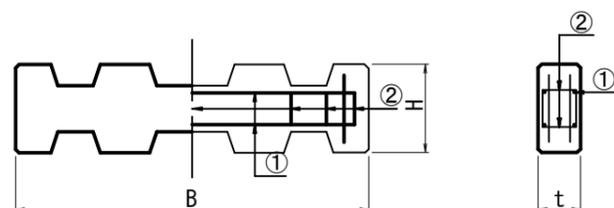
横材

A材



控材

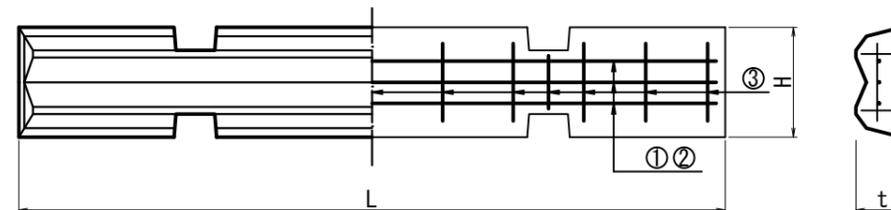
B材



II 型

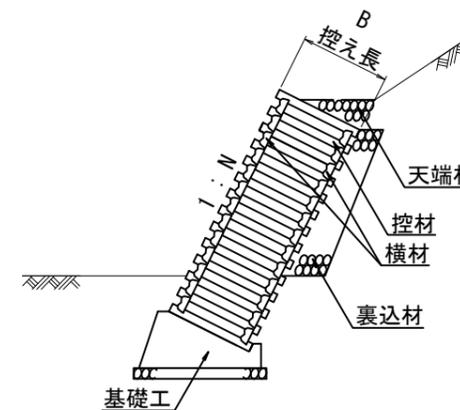
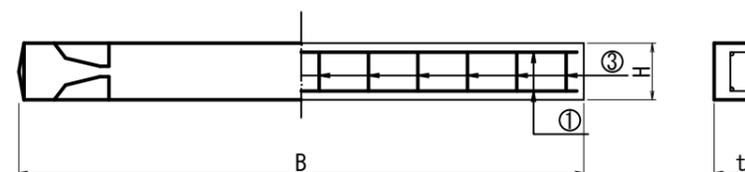
横材

A材



控材

Dc材



呼び名			寸法 (mm)				鉄筋						参考質量 (kg)
			L	B	t	H	①		②		③		
						径	本数	径	本数	径	本数		
I 型	A材	A-1	2000	—	110	210	D10	4	5.0	9	5.0	8	86
		A-2	1250							8			52
		A-3	2250							12			95
	B材	B-1	—	1000	120	250	D10	4	5.0	7	—	—	54
		B-2	—	1660						9			106
		B-3	—	2320						12			150
II 型	A材	A-1	2000	—	150	310	D10	3	D6	3	5.0	26	176
		A-1	1000									7	52
	Dc材	—	1000	1660	160	160	D10	4	—	—	—	—	10
—		1660	—										—
許容差			+5,-3	+5,-3	+5,-3	+5,-3	—						—

特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は SD295A及びJIS G 3532に規定する鉄線とする。

名称

境界標

標準設計番号

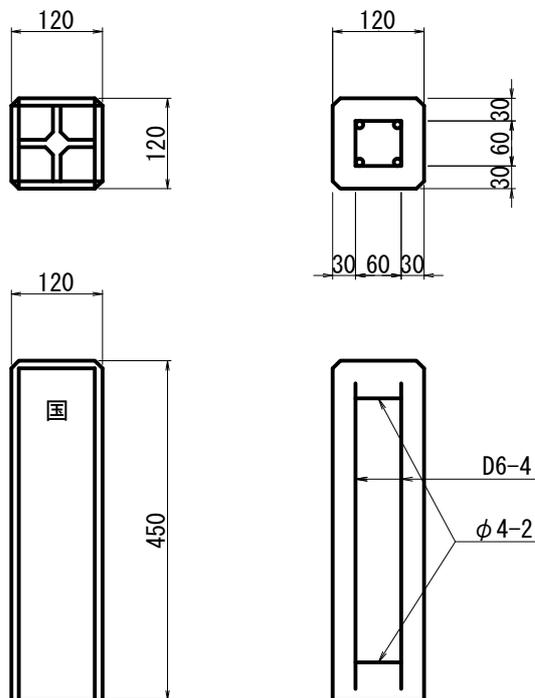
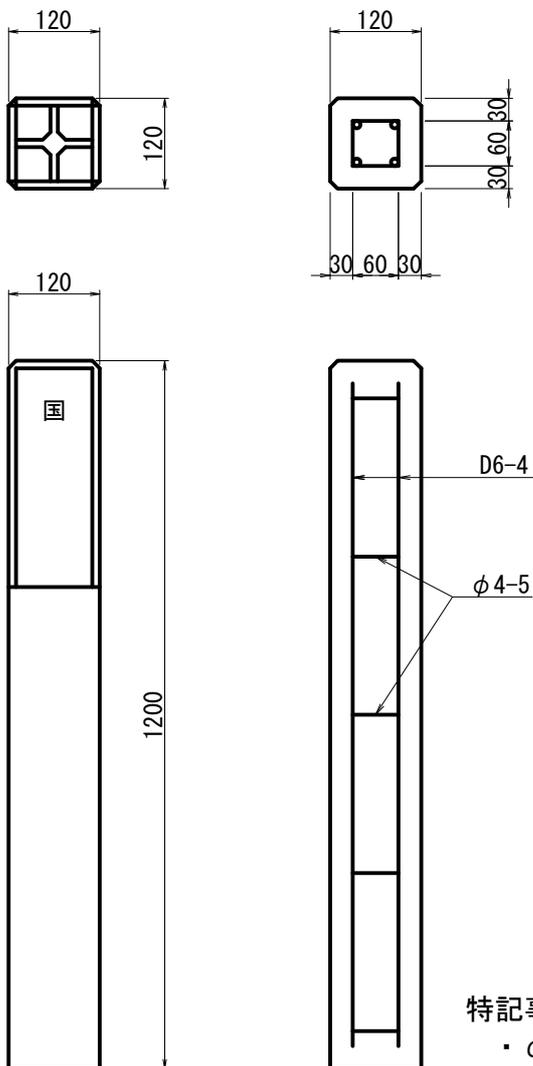
共-Ⅷ-2

工種記号

K

I 型

II 型

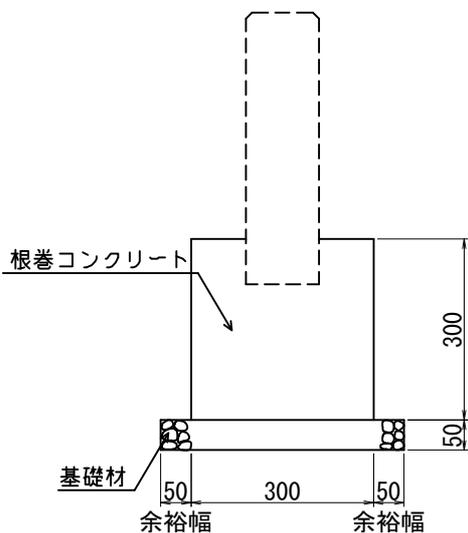


呼び名	I 型	II 型
参考質量 (kg)	39	15
許容差 (mm)	幅	±2
	長さ	+5, -2

特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は、SD295A及びJIS G 3532に規定する鉄線とする。

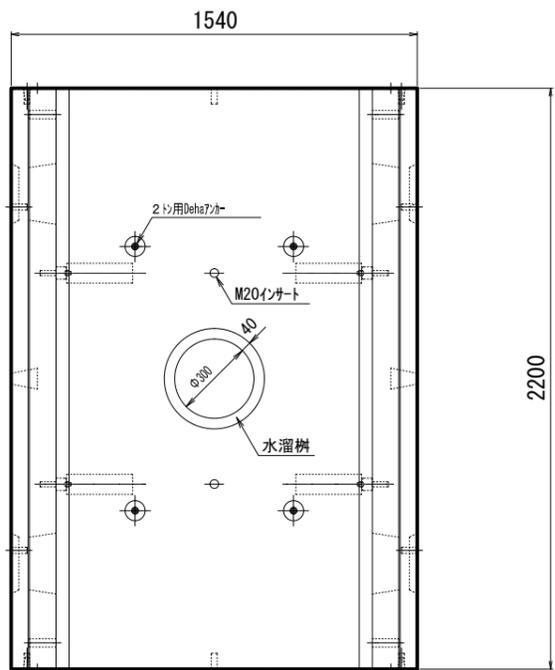
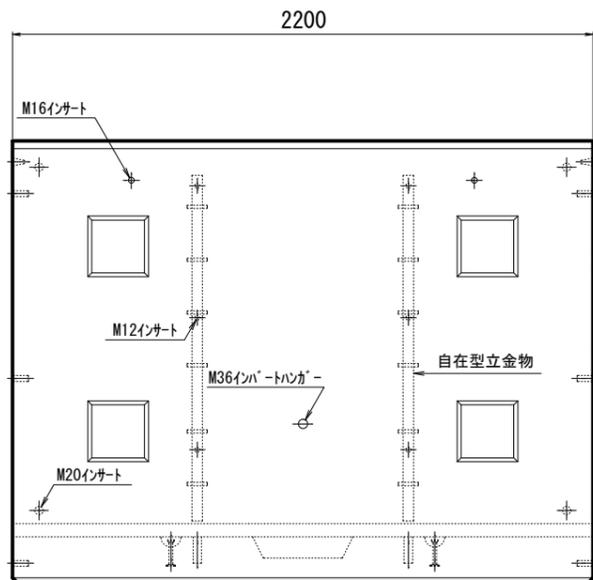
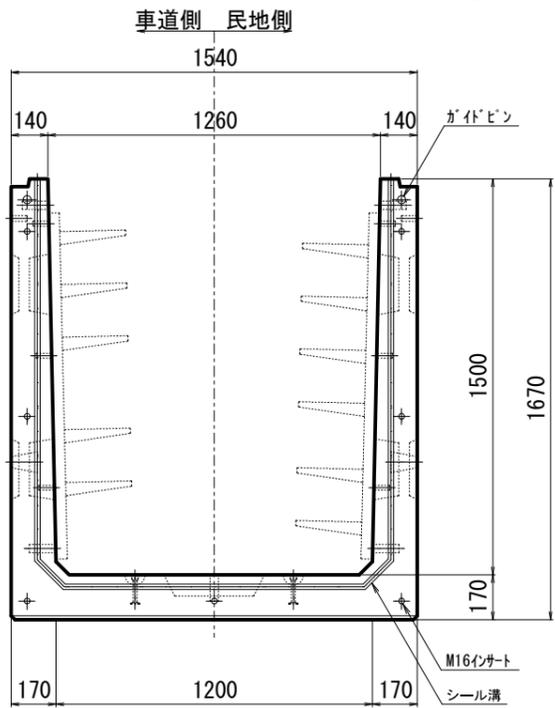
参考図表



項目 呼び名	コンクリート (m^3)	型枠面積 (m^2)	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 (mm)	1本当り
					基礎材 (m^3)
II 型	0.027	0.360	50	50	0.008

名称	電線共同溝 (CCBOX)	標準設計番号	共-VIII-3
		工種記号	CCBX

分岐接続部 I 型

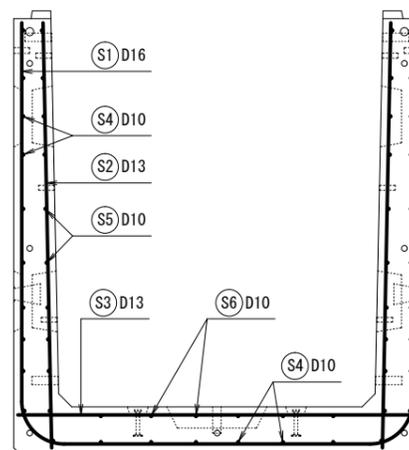


許容差

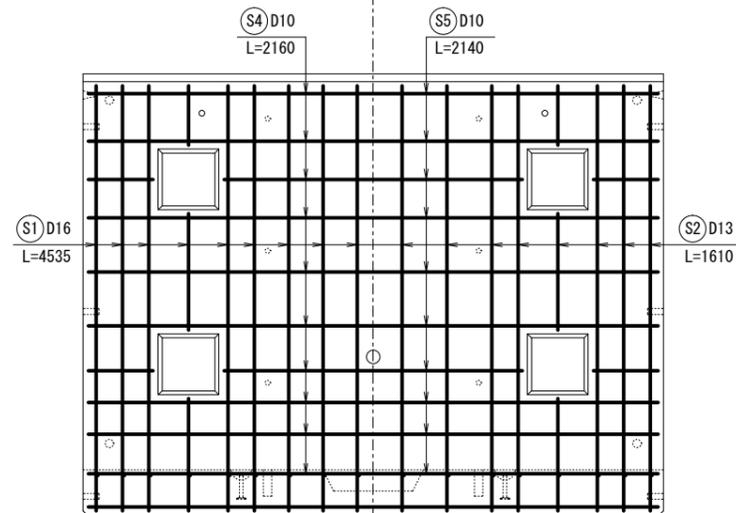
幅・高さ	長さ	部材厚さ
±5	+10,-5	+4,-3

製品参考質量 3850kg

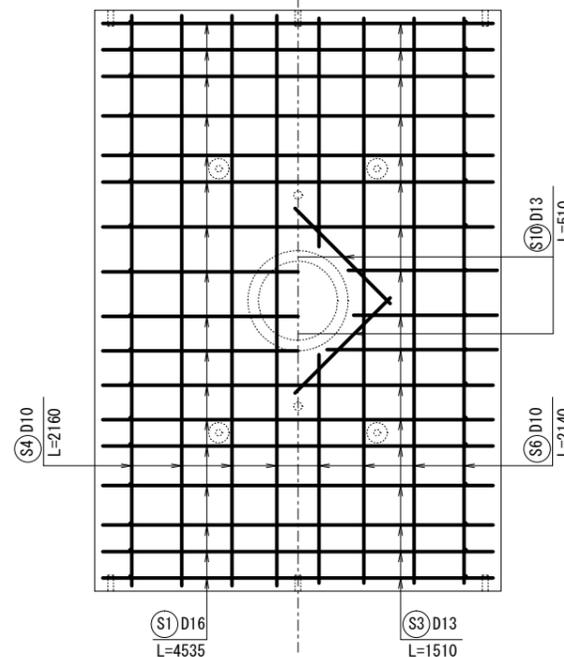
断面図



側壁
外側 内側



底板
外側 内側



鉄筋表

記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単重 (kg)	重量 (kg)
S1	D16	4535	17	1.560	117.023
S2	D13	1610	34	0.995	52.397
S3	D13	1510	17	0.995	24.511
S4	D10	2160	28	0.560	32.659
S5	D10	2140	20	0.560	22.758
S6	D10	2140	6	0.560	6.731
S10	D13	510	4	0.995	2.030
					117.023
					78.938
					62.148
合計	総合計				258.109

特記事項

・構造の詳細は以下による。

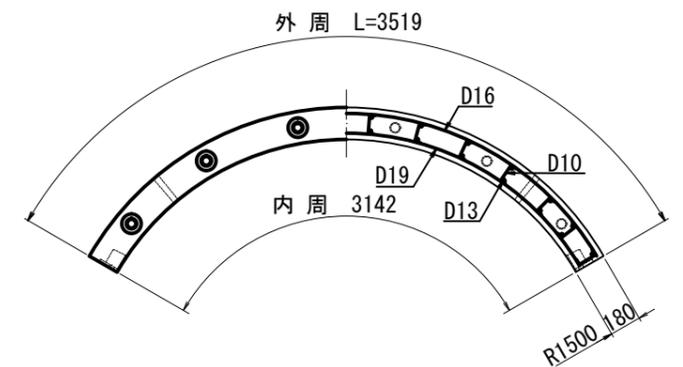
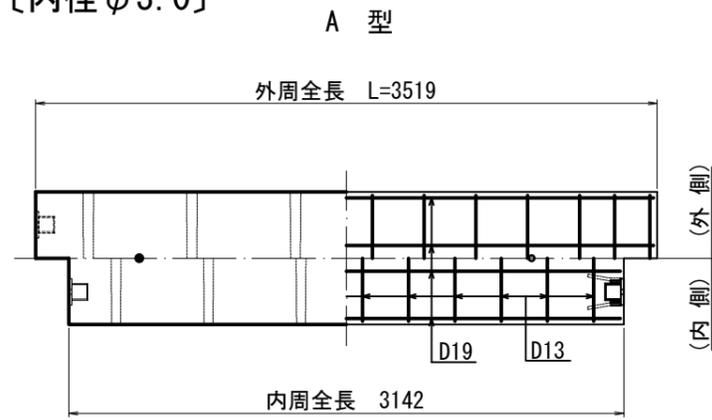
- 電線共同溝マニュアル (案) H12.11 建設省北陸地方建設局
- 電線共同溝マニュアル (案) 改訂版 H16.10 国土交通省北陸地方整備局
- 電線共同溝 (技術) マニュアル (改訂案) H27.10 北陸地方無電柱化協議会

- ・ $\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋はSD295A及びJIS A 3532に規定する普通鉄線又はコンクリート用鉄線とする。
- ・ 桝には他に低圧分岐桝、横断桝、柱体接続桝、通信接続桝、特殊部Ⅱ型などがある。
- ・ それらの製品図はH16.10国土交通省北陸地方整備局 電線共同溝マニュアル (案) 改訂版による。
- ・ 旧タイプ (4期) 製品は電線共同溝マニュアル (案) (H12.11 建設省北陸地方建設局) による。

名称	組立集水井筒	標準設計番号	共-Ⅷ-4
		工種記号	砂-集水

一般構造図 (内径φ3.5)

自重沈下方式
〔内径φ3.0〕

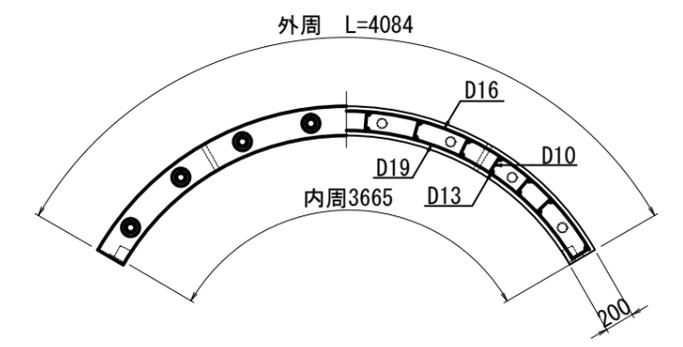
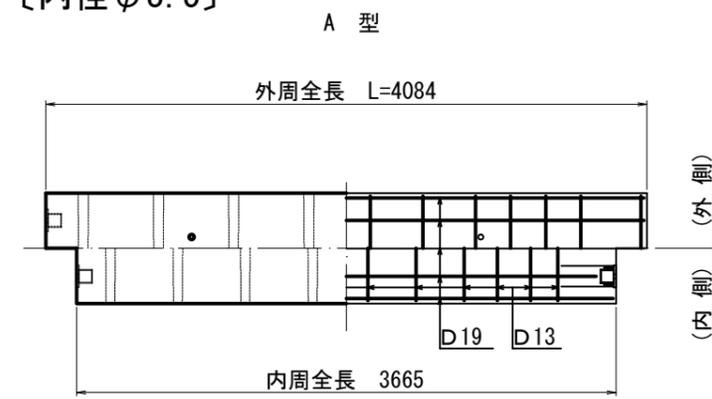


自沈方式	タイプ	参考質量(kg)
	A型	1040
	B型	1040
	C型	815

寸法許容差

L	H	t
±3	±3	±3

〔内径φ3.5〕

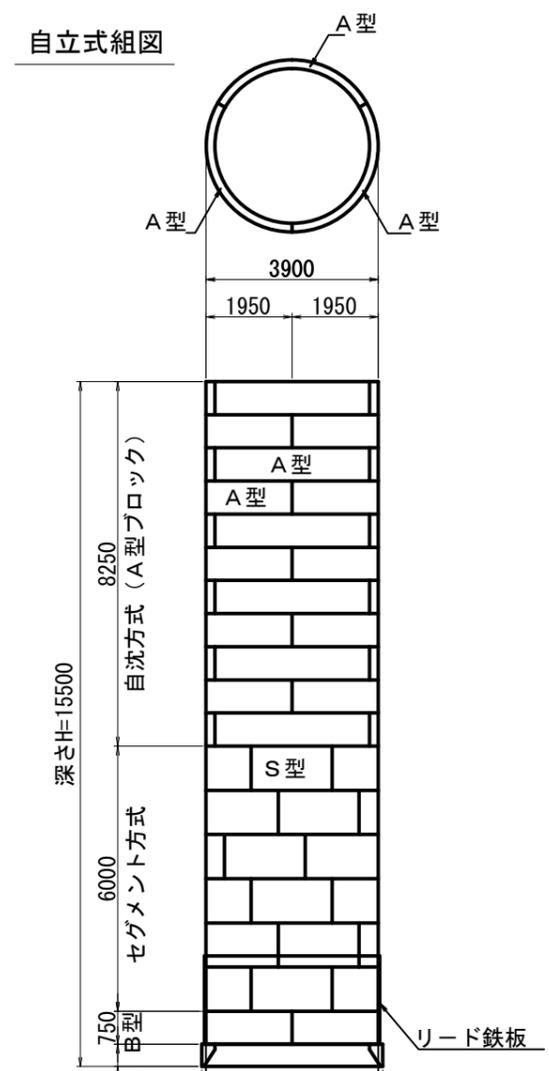


自沈方式	タイプ	参考質量(kg)
	A型	1340
	B型	1360
	C型	1030

寸法許容差

L	H	t
±3	±3	±3

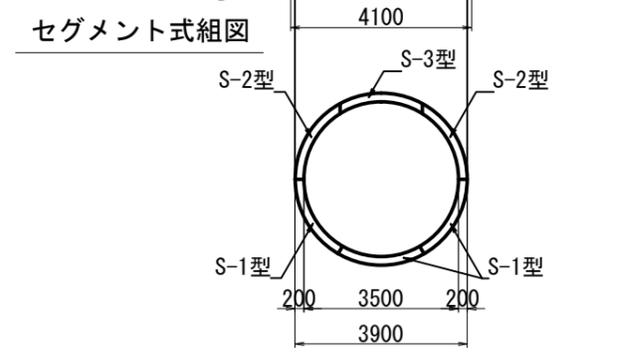
自立式組図



縦方向挿入鉄筋径

内径(m)	径	本数
φ 3.0	D16	18本
φ 3.5	D19	24本

セグメント式組図



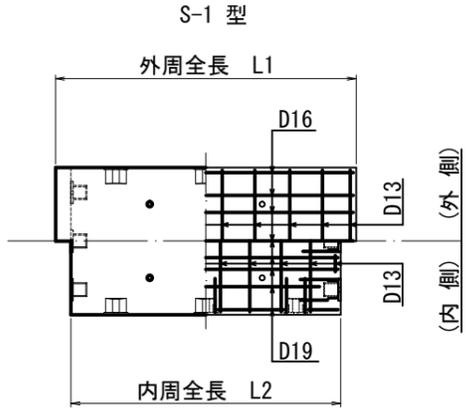
特記事項

- ・詳細は、「鉄筋コンクリート集水井設計・施工マニュアル(鉄筋コンクリート集水井検討委員会)」による。
- ・ $\sigma_c k=40N/mm^2$ 以上。
- ・鉄筋は、SD295Aとする。ただし、自沈方式に用いる縦方向挿入鉄筋はSD345とする。

名称	組立集水井筒	標準設計番号	共-Ⅷ-4
		工種記号	砂-集水

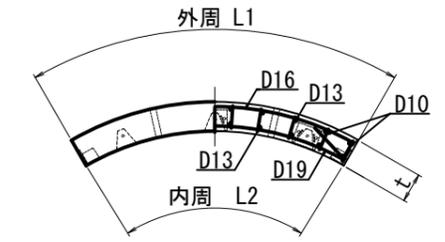
セグメント方式

[内径φ3.0・φ3.5]

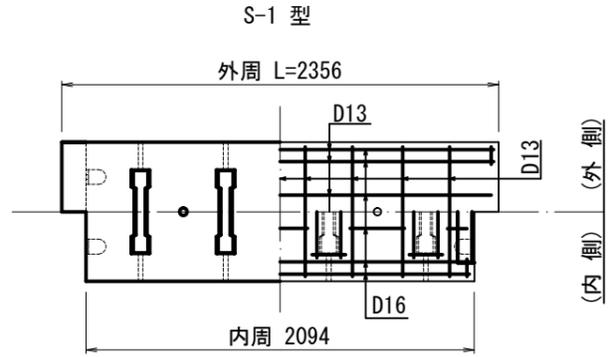


タイプ	参考質量 (kg)	
	内径φ3.0	内径φ3.5
S-1型	515	900
S-2型	515	900
S-3型	515	905

	寸法 (mm)			
	L1	L2	H	T
内径φ3.0	1759	1571	750	180
内径φ3.5	2042	1833	1000	200
寸法許容差	±3	-	±3	±3

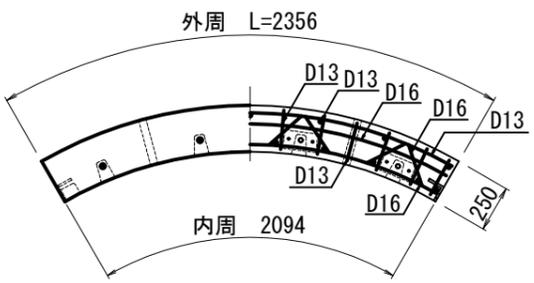


[内径φ4.0]

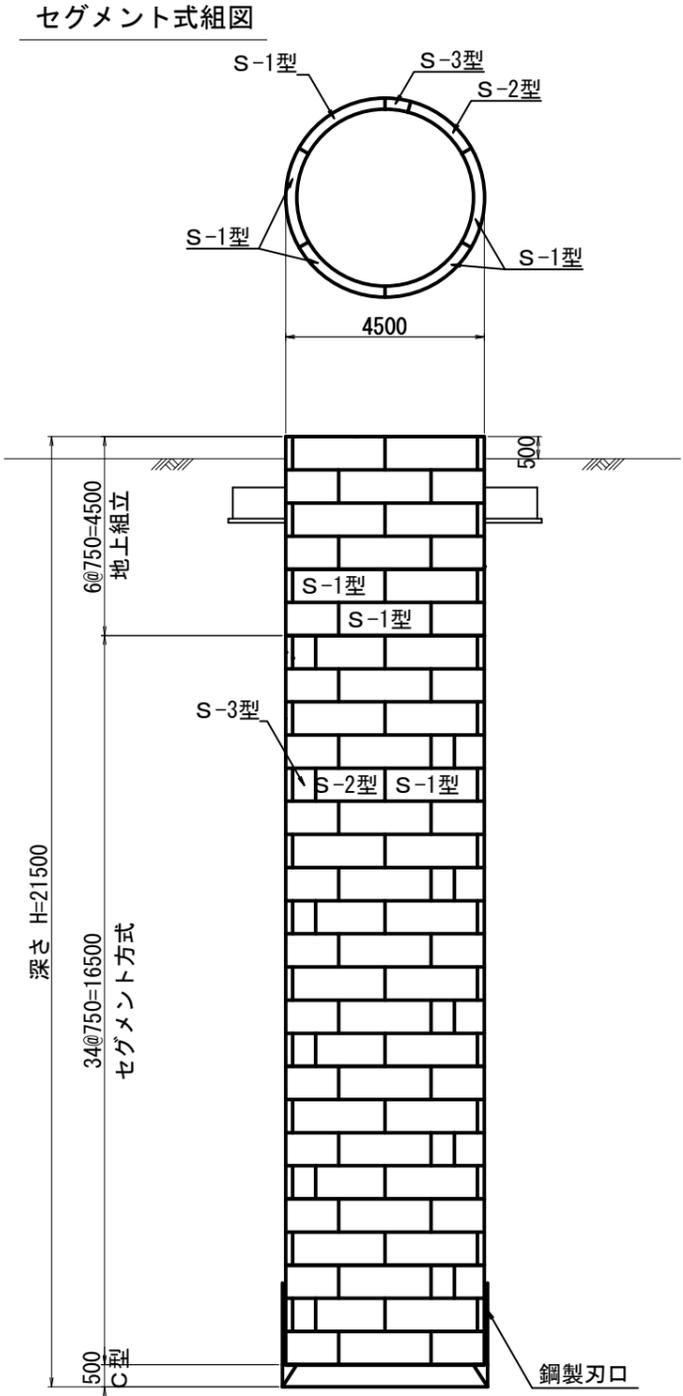


タイプ	参考質量 (kg)
S-1型	1040
S-2型	780
S-3型	260

寸法許容差		
L	H	t
±3	±3	±3



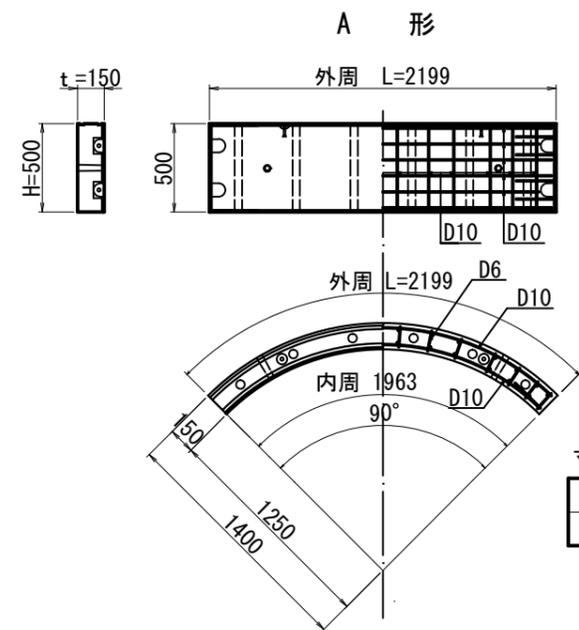
一般構造図 (内径φ4.0)



特記事項

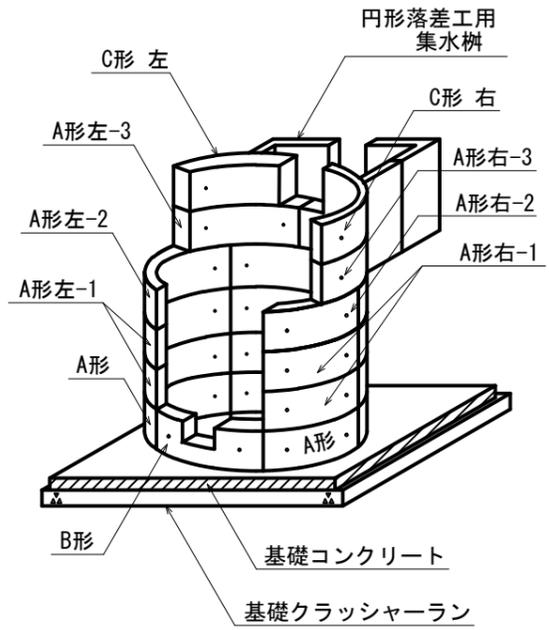
- ・詳細は、「鉄筋コンクリート集水井設計・施工マニュアル(鉄筋コンクリート集水井検討委員会)」による。
- ・ $\sigma_c k = 40N/mm^2$ 以上。
- ・鉄筋は、SD295Aとする。
- ・セグメント方式の連結は、M22高カメッキボルト を使用する。

名称	円形落差工	標準設計番号	共-Ⅷ-5
		工種記号	砂-落差工

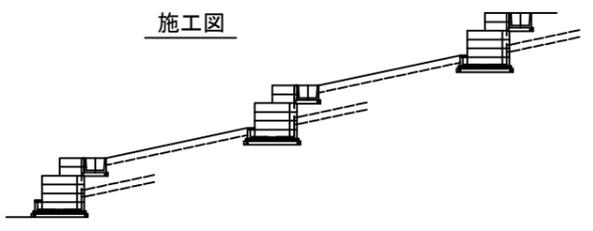


寸法許容差

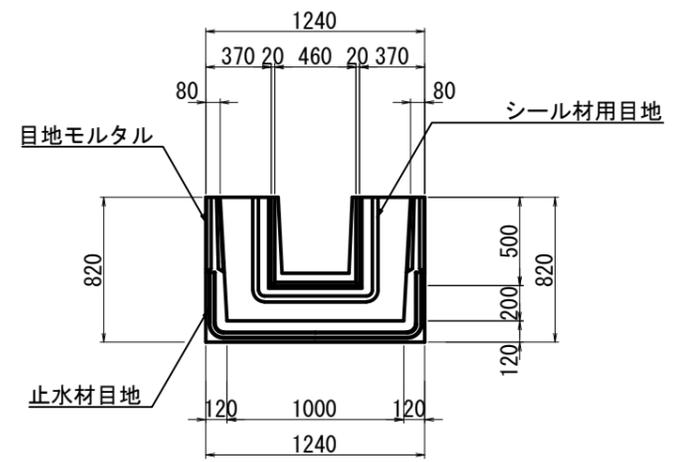
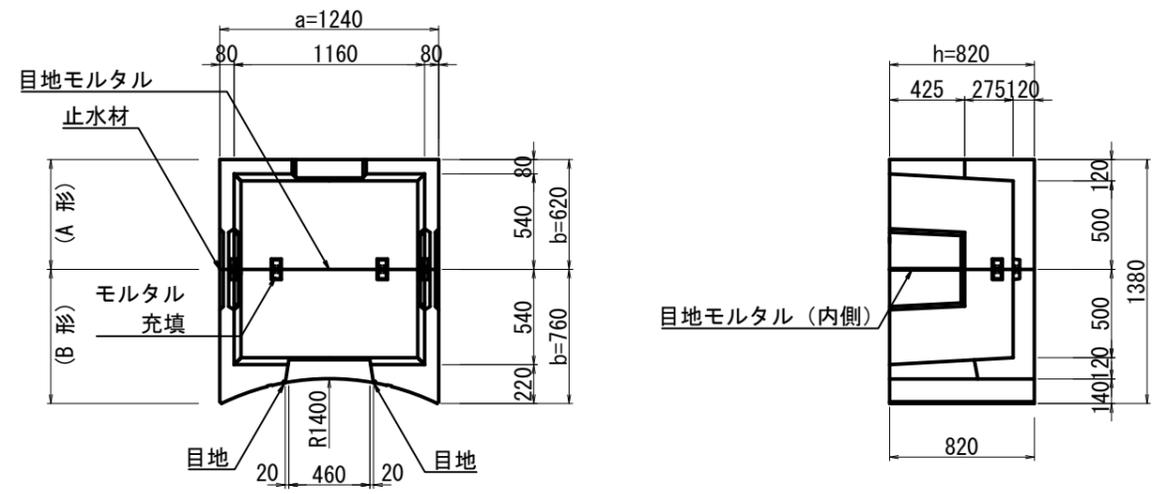
L	H	t
±5	±5	±5



呼び名	参考質量 (kg/ヶ)	数量
A形	360	4
A形 右-1	360	2
A形 左-1	360	2
A形 右-2	360	1
A形 左-2	360	1
A形 右-3	360	1
A形 左-3	360	1
A形 暗渠 上	335	1
A形 暗渠 下	335	1
B形	315	1
C形 右	320	1
C形 左	320	1



円形落差工用集水樹



参考質量 (kg)

1130

寸法許容差

a	b	h
+3, -2	+3, -2	+3, -2

特記事項

- ・詳細は、「鉄筋コンクリート集水井設計・施工マニュアル(鉄筋コンクリート集水井検討委員会)」による。
- ・ $\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・鉄筋は、SD295Aとする。
- ・施工は、組立挿入鉄筋(D16)を挿入し、グラウトを充填する。
- ・円形落差工本体と集水樹との連結は、ボルトを使用する。
- ・基礎コンクリートは、現場打ちとする。

参考図表

項目	参考数量					1基当り	
	基礎寸法 (m)	基礎厚さ (mm)	基礎材厚さ (mm)	基礎材余裕幅 (mm)	底張コンクリート厚さ (mm)	基礎型枠面積 (m ²)	基礎
呼び名	3.0×3.0	150	200	100	100	1.800	基礎
H = 2.0m							
H = 2.5m							
H = 3.0m							

項目	基礎コンクリート (m ³)	基礎材 (本体) (m ³)	基礎材 (集水樹) (m ³)	底張コンクリート (m ³)	垂直鉄筋		
					鉄筋径	鉄筋量 (kg)	
呼び名	1.350	2.048	0.404	0.491	D16 (SD345)	H = 2.0m	73
H = 2.5m						89	
H = 3.0m						103	

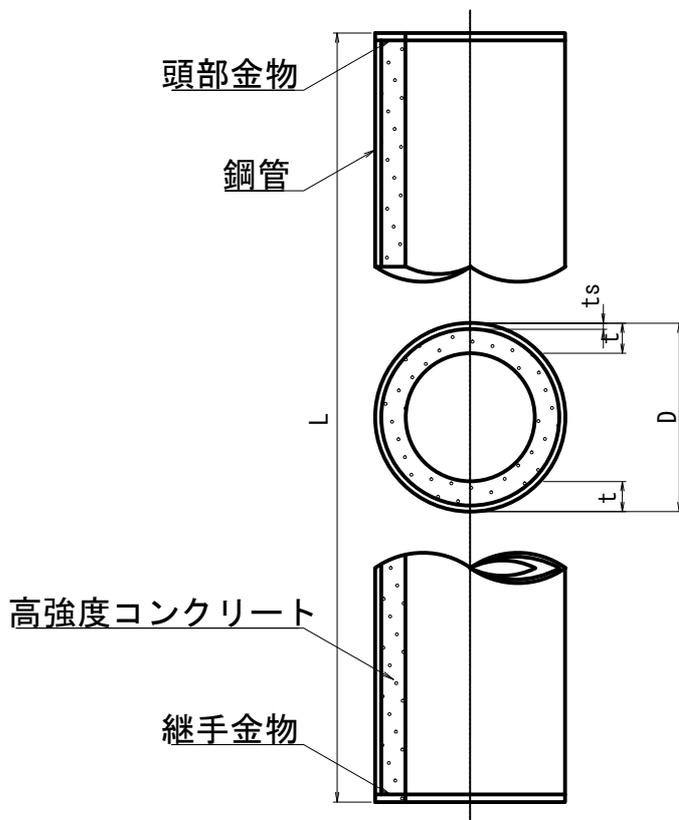
SCくい

標準設計番号

-

工種記号

-



呼び径 D (mm)	厚さ t (mm)	くい長さ L (m)	鋼管厚 ts (mm)	参考質量 (kg/m)
400	65	5~15	4.5~12	200~250
450	70	5~15	4.5~14	240~300
500	80	5~15	4.5~16	300~390
600	90	5~15	4.5~16	410~520
700	100	5~15	6~22	540~720
800	110	5~15	6~22	680~880

寸法の許容差 (mm)

区分	外径	厚さ	長さ
くい外径	±0.5%	+規定せず, -0	+70, -30

特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 80\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 金物は、SM400・490、鋼管はSKK400・490とする。

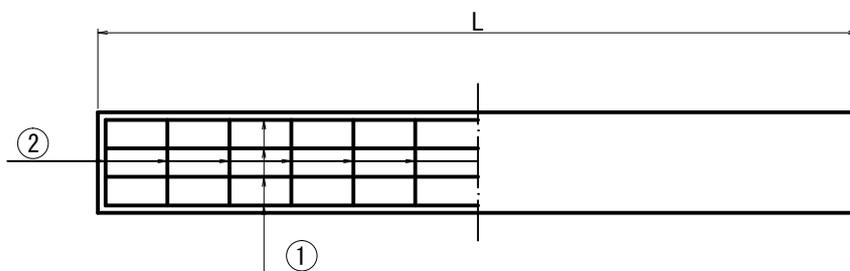
コンクリート基礎版

標準設計番号

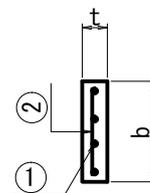
-

工種記号

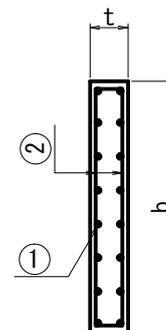
-



一般用



大型用



呼び名	寸法 (mm)			鉄筋				参考質量 (kg)
				①		②		
	b	t	L	径	本数	径	本数	
一般用	400	100	3100	D16	4	D10	13	298
大型用	1000 (2000)	150	3000	D13	16 (30)	D10	13	1120 (2250)
許容差	±5	+10, -5		-				-

特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は、SD295Aとする。

名称

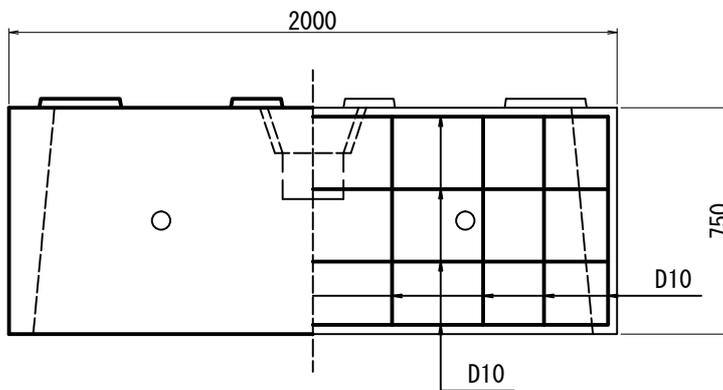
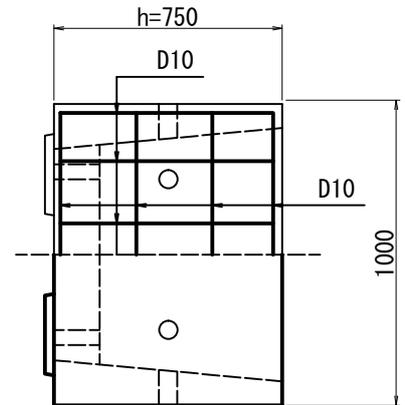
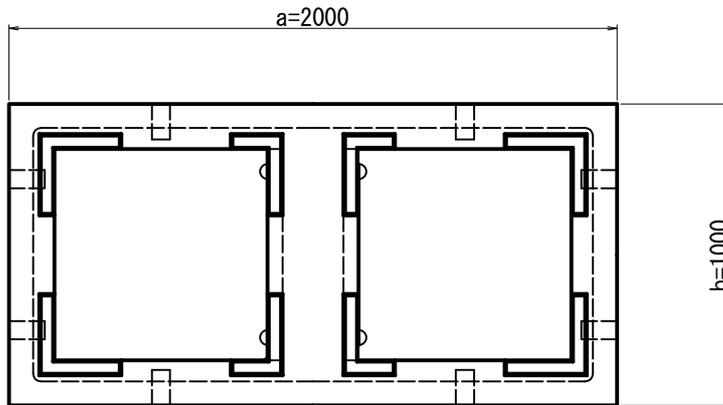
災害用土留ボックス

標準設計番号

-

工種記号

-



参考質量 (kg)

1170

寸法許容差

a	b	h
±5	±3	±5

特記事項

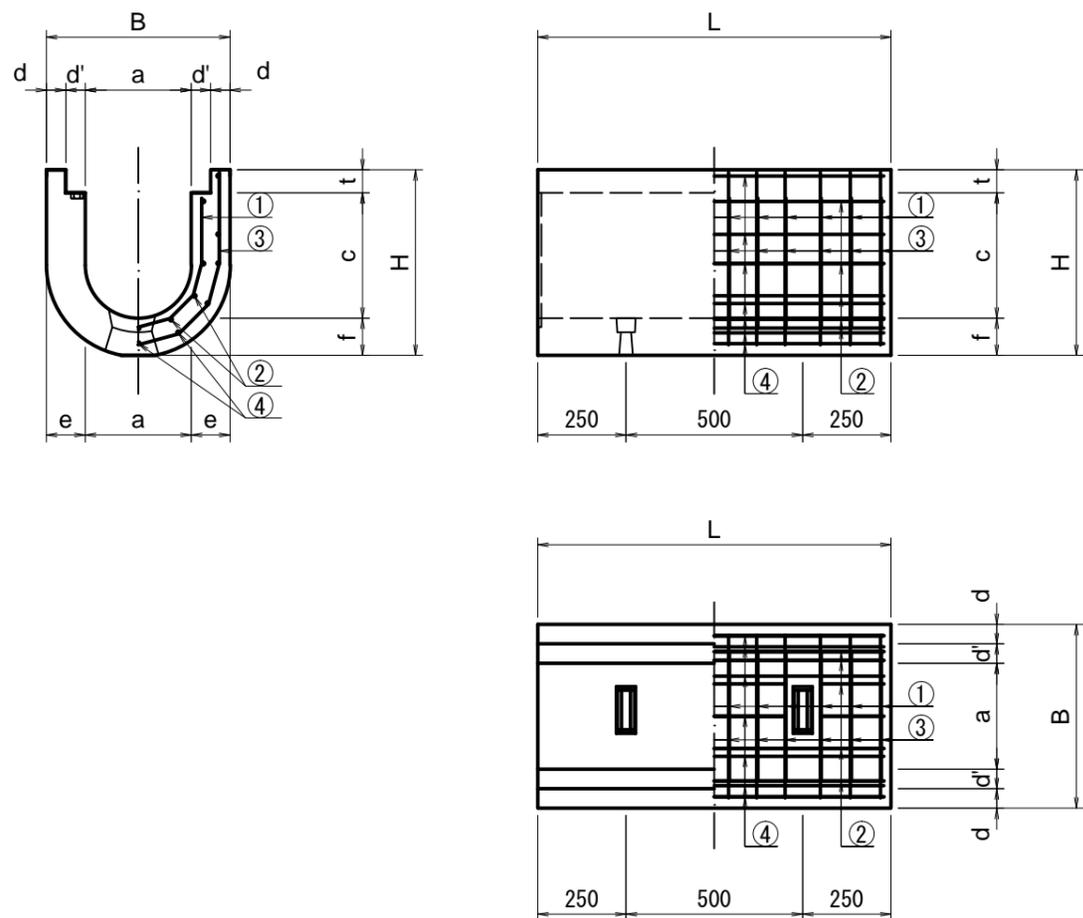
- ・ $\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋はSD295Aとする。
- ・ 吊り下げ孔を用いる等、施工に配慮することができる。
- ・ 中詰め材は、現場発生土を使用する。

参考図表

参考数量	1個当り
項目	胴込め 中詰め (m^3)
呼び名	
災害用土留ボックス	0.996

名称	勾配対応型横断側溝	標準設計番号	—
		工種記号	—

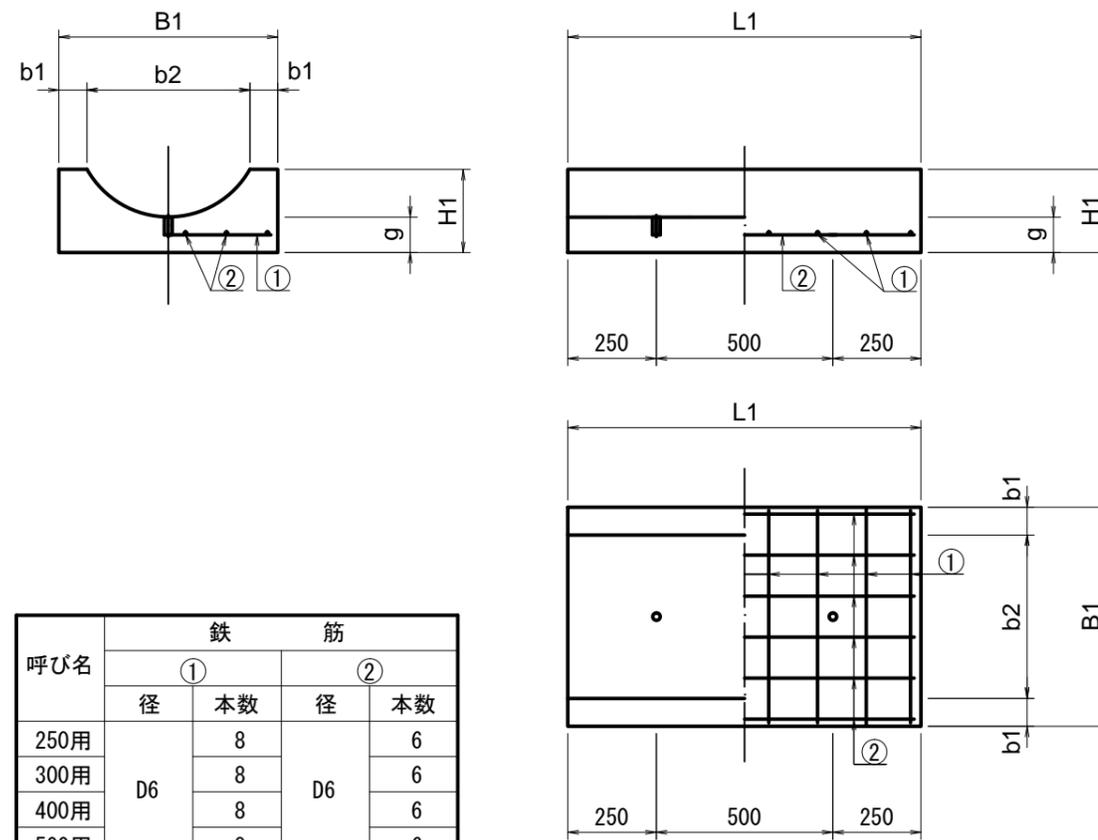
本体



呼び名	寸法 (mm)										参考質量 (kg)
	B	H	a	c	d	d'	e	f	t	L	
250A	460	455	250	295	50	55	105	100	60	1000 (500)	229 (115)
300A	520	525	300	355	55	55	110	105	65	1000 (500)	295 (148)
300B	520	625	300	455	55	55	110	105	65	1000 (500)	348 (174)
300C	520	725	300	555	55	55	110	105	65	1000 (500)	401 (201)
400A	630	650	400	460	60	55	115	110	80	1000 (500)	423 (212)
500A	750	785	500	580	70	55	125	120	85	1000 (500)	588 (294)
許容差	±3									±6	

呼び名	鉄筋							
	内側				外側			
	①		②		③		④	
径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	
250A	D6	10	φ4	9	D6	10	φ4	9
300A		12		9		12		11
300B		8		11		8		11
300C	D10	10	φ5	11	D10	10	φ5	11
400A		8		9		8		11
500A		10		11		10		11

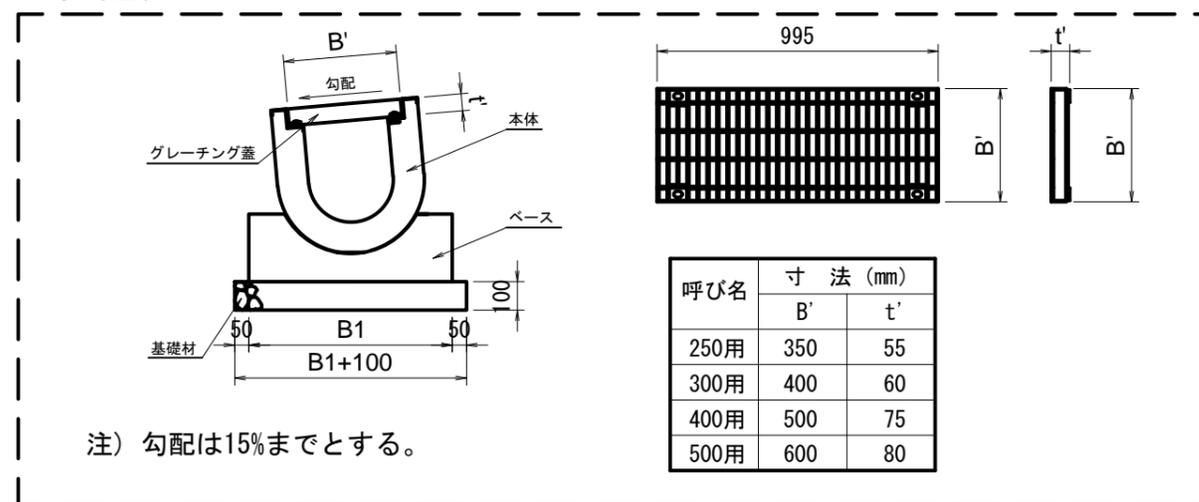
ベース



呼び名	鉄筋			
	①		②	
	径	本数	径	本数
250用	D6	8	D6	6
300用		8		6
400用		8		6
500用		8		6

呼び名	寸法 (mm)						参考質量 (kg)
	B1	b1	b2	H1	g	L1	
250用	560	78	404	215	100	1000 (1500)	212 (314)
300用	620	79	462	235	100	1000 (1500)	245 (368)
400用	730	88	554	260	100	1000 (1500)	304 (456)
500用	850	96	658	290	100	1000 (1500)	378 (567)
許容差	±3					±6	

参考図表

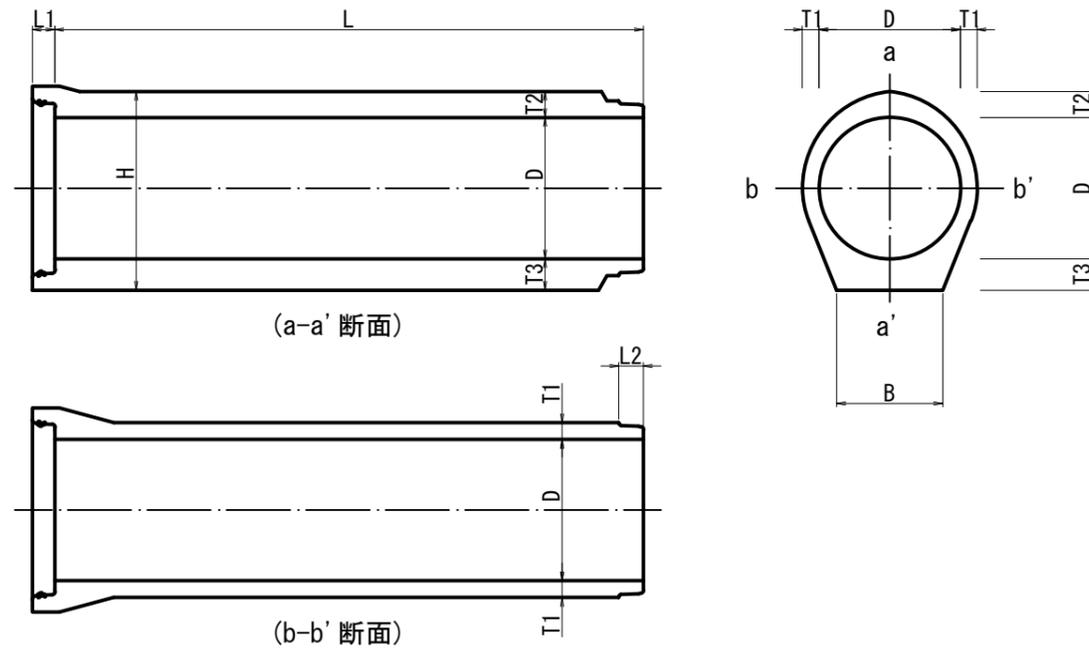


呼び名	寸法 (mm)	
	B'	t'
250用	350	55
300用	400	60
400用	500	75
500用	600	80

特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は、SD295A 及び JIS G 3532 に規定する鉄線とする。

名称	台付鉄筋コンクリート管	標準設計番号	-
		工種記号	-



継手形状 VP形

項目 呼び名	寸法 (mm)									参考質量 (kg)
	D	T1	T2	T3	H	B	L1	L2	L	
VP-150	150	33	48	60	258	120	60	69	1000	66
VP-200	200	38	59	73	332	160	70	76	1000	106
VP-250	250	45	70	84	404	200	69	74	2000	288
VP-300	300	50	69	86	455	240	95	99	2000	381
VP-350	350	54	72	91	513	280	95	101	2000	477
VP-400	400	58	74	98	572	320	95	101	2500	731
VP-450	450	62	96	105	651	360	95	105	2500	893
VP-500	500	65	101	114	715	400	95	105	2500	1,048
VP-600	600	71	110	125	835	450	95	105	2500	1,357
VP-700	700	77	119	136	955	500	110	120	2500	1,686
VP-800	800	83	129	149	1078	550	110	120	2500	2,075
VP-900	900	89	138	163	1201	600	126	136	2500	2,465
VP-1000	1000	95	147	176	1323	650	126	136	2500	2,977
VP-1100	1100	101	157	187	1444	700	126	136	2500	3,340
VP-1200	1200	107	166	200	1566	760	136	146	2500	3,880
許容差	日本下水道協会規格 JSWAS A-9 に準用する									-

- ・ VP台付管は継手部のシーラ材を施工時に管の差し口に装着する構造のもの。
- ・ φ150及びφ200は、日本下水道協会規格 JSWAS A-9の規格外。

継手形状 BZ形

項目 呼び名	寸法 (mm)									参考質量 (kg)
	D	T1	T2	T3	H	B	L1	L2	L	
BZ-250	250	45	70	90	410	200	95	99	2000	320
BZ-300	300	50	69	95	464	240	95	99	2000	390
BZ-350	350	54	72	100	522	280	95	101	2000	476
BZ-400	400	58	74	107	581	320	95	101	2500	720
BZ-450	450	62	96	114	660	360	95	105	2500	892
BZ-500	500	65	101	122	723	400	95	105	2500	1,048
BZ-600	600	71	110	133	843	450	95	105	2500	1,339
BZ-700	700	77	119	147	966	550	110	120	2500	1,731
BZ-800	800	83	129	161	1090	630	110	120	2500	2,149
BZ-900	900	89	138	174	1212	700	126	136	2500	2,603
BZ-1000	1000	95	147	188	1335	780	126	136	2500	3,129
許容差	日本下水道協会規格 JSWAS A-9 に準用する									-

- ・ BZ台付管は継手部のシーラ材が、管の受け口にあらかじめ埋め込まれている構造のもの。

参考図表

普通地盤の場合

30
100 B 100
余裕幅 余裕幅
敷モルタル
基礎材

継手形状 VP形
参考数量 延長1m当り

項目 呼び名	敷 モルタル (m ³)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m ³)
VP-150	0.004	150	0.048
VP-200	0.005	150	0.054
VP-250	0.006	150	0.060
VP-300	0.007	150	0.066
VP-350	0.008	150	0.072
VP-400	0.010	150	0.078
VP-450	0.011	150	0.084
VP-500	0.012	150	0.090
VP-600	0.014	150	0.098
VP-700	0.015	150	0.105
VP-800	0.017	150	0.113
VP-900	0.018	150	0.120
VP-1000	0.020	200	0.170
VP-1100	0.021	200	0.180
VP-1200	0.023	200	0.192

継手形状 BZ形
参考数量 延長1m当り

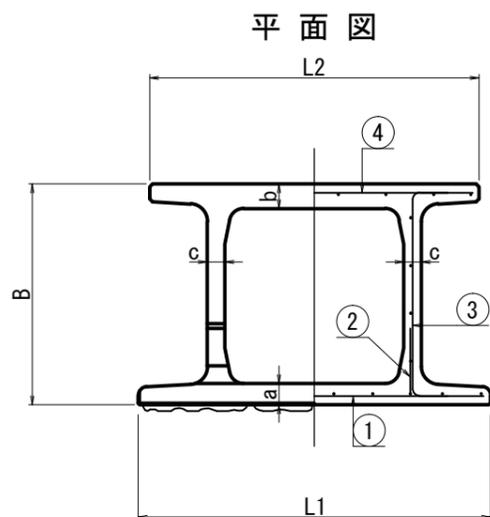
項目 呼び名	敷 モルタル (m ³)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m ³)
BZ-250	0.006	150	0.060
BZ-300	0.007	150	0.066
BZ-350	0.008	150	0.072
BZ-400	0.010	150	0.078
BZ-450	0.011	150	0.084
BZ-500	0.012	150	0.090
BZ-600	0.014	150	0.098
BZ-700	0.017	150	0.113
BZ-800	0.019	150	0.125
BZ-900	0.021	150	0.135
BZ-1000	0.023	200	0.196

・ 軟弱地盤の場合は、厚さ100mmの基礎材及び厚さ100mmの均しコンクリート(またはベース板)とする。

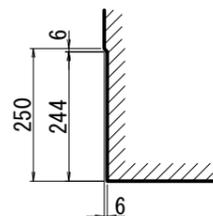
特記事項

- ・ 詳細は、「管・函渠型側溝設計資料集(北陸土木コンクリート製品技術協会)」及び「日本下水道協会規格 JSWAS A-9」による。
- ・ 施工用のアンカー等を設けるなど施工に配慮することができる。

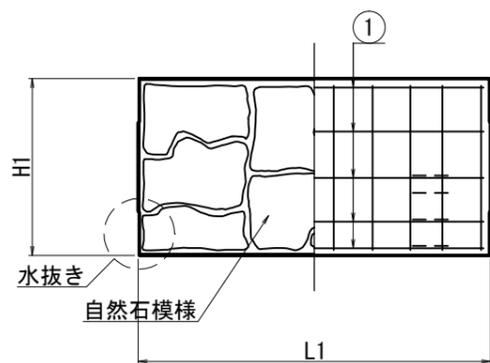
名称	箱型擁壁	標準設計番号	-
		工種記号	-



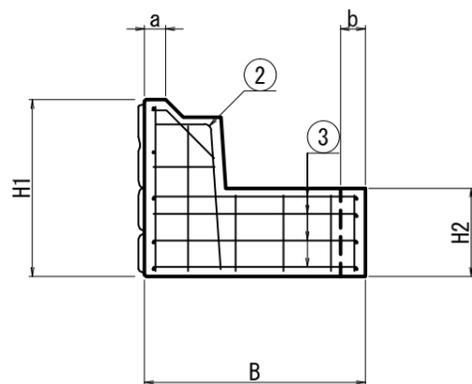
水抜き部詳細図



正面図



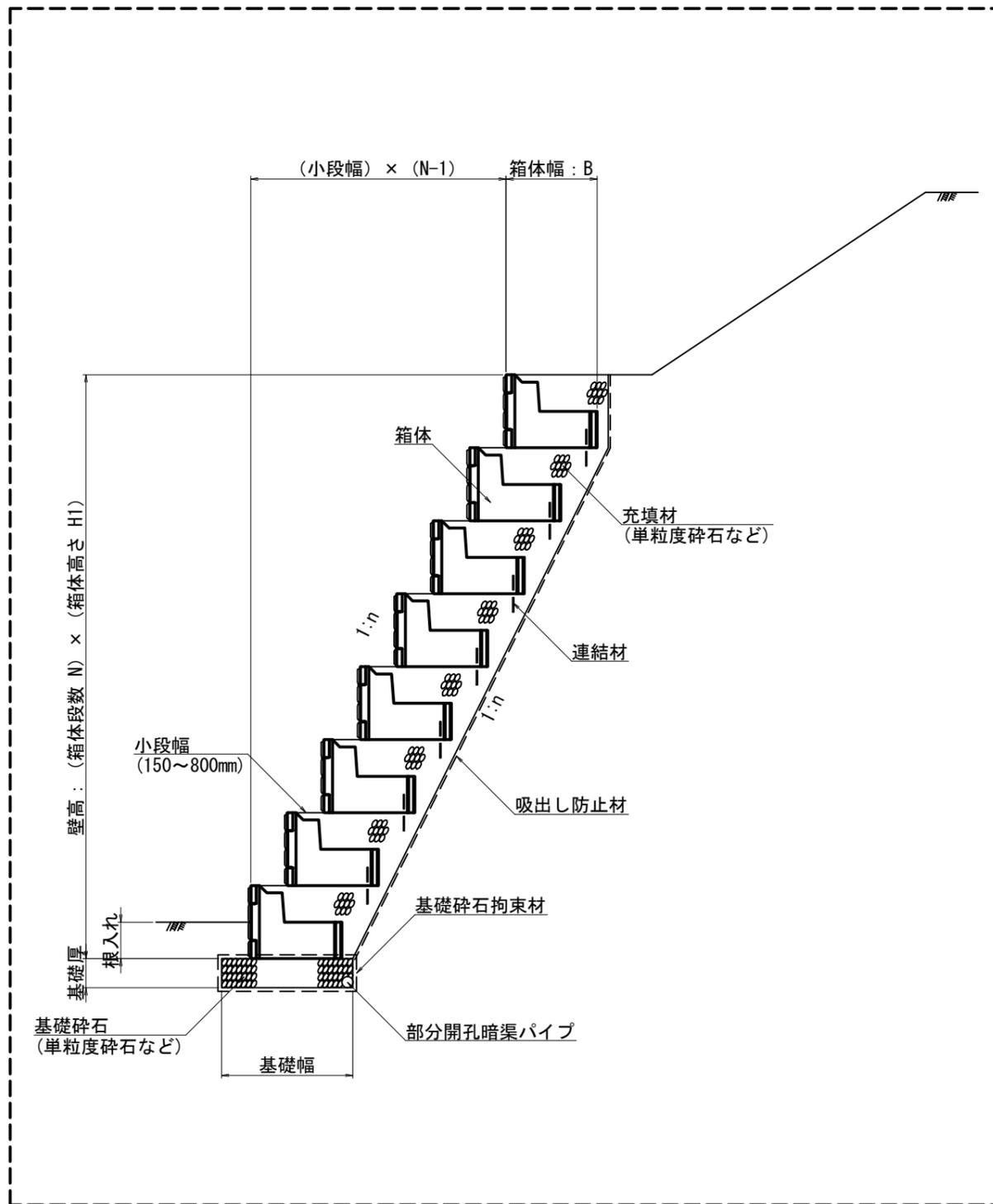
側面図



呼び名	寸法 (mm)								参考質量 (kg)
	H1	H2	B	L1	L2	a	b	c	
AL型	1000	498	1250	1995	1865	120	140	100	1304
BL型	1000	498	1250	1496	1262	120	120	100	1028
許容差	+10~-5				+5~-2				

呼び名	鉄筋							
	①		②		③		④	
	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数
AL型	D13	5	D13	2	D13	8	D13	4
BL型	D13	5	D13	2	D13	8	D13	4

参考図表



特記事項

- ・詳細は、「箱型擁壁工法 設計・施工マニュアル (一般財団法人 土木研究センター)」による。
- ・ $\sigma_{ck} = 35\text{N/mm}^2$ 以上とする。
- ・鉄筋の種類は、SD295 及び SD345 とする。
- ・模様は、自然石模様のほかに陰影模様とすることができる。

名称

貯水用L型ブロック

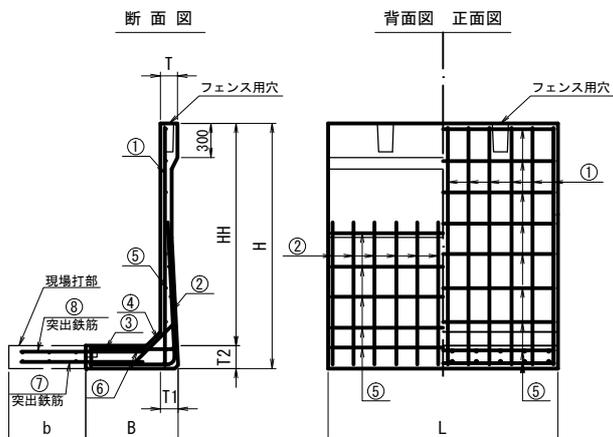
標準設計番号

—

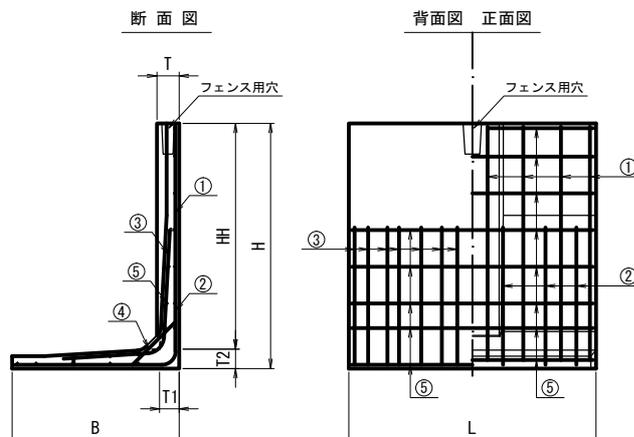
工種記号

—

I 型



II 型



呼び名	寸法 (mm)								参考質量 (kg)	
	H	HH	B	T	T1	T2	L	b		
			タイプA		タイプB					
1000	1100	1000	655	150	100	100	2000	500	500	840
1500	1630	1500	807	150	150	130	2000	550	600	1440
2000	2150	2000	808	150	150	150	2000	1000	1100	1790
2500	2700	2500	913	150	200	200	2000	1300	1500	2585
3000	3250	3000	1119	150	250	250	2000	1600	1800	3660
許容差	+10 -5		+5 -2			+10 -5		-		-

注) 通常条件では、b=タイプA。背面土が無い場合は、b=タイプBとする。
注) 突出鉄筋が複鉄筋の規格は、底版先端部に切欠が付く。

呼び名	寸法 (mm)								参考質量 (kg)	
	H	HH	B	(B)	T	T1	T2	L	フェンス用穴有	フェンス用穴無
	1000	1000	890	850	750	180	110	110	2000	940
1500	1500	1390	1100	1050	180	110	110	2000	1330	1200
2000	2000	1850	1350	1300	180	150	150	2000	1970	1840
2500	2500	2320	1600	1600	340	180	180	2000	2970	2560
3000	3000	2780	1850	1850	340	220	220	2000	3940	3490
許容差	+10 -5		+5 -2			+10 -5		-		-

注) (B)はフェンス用穴無の場合

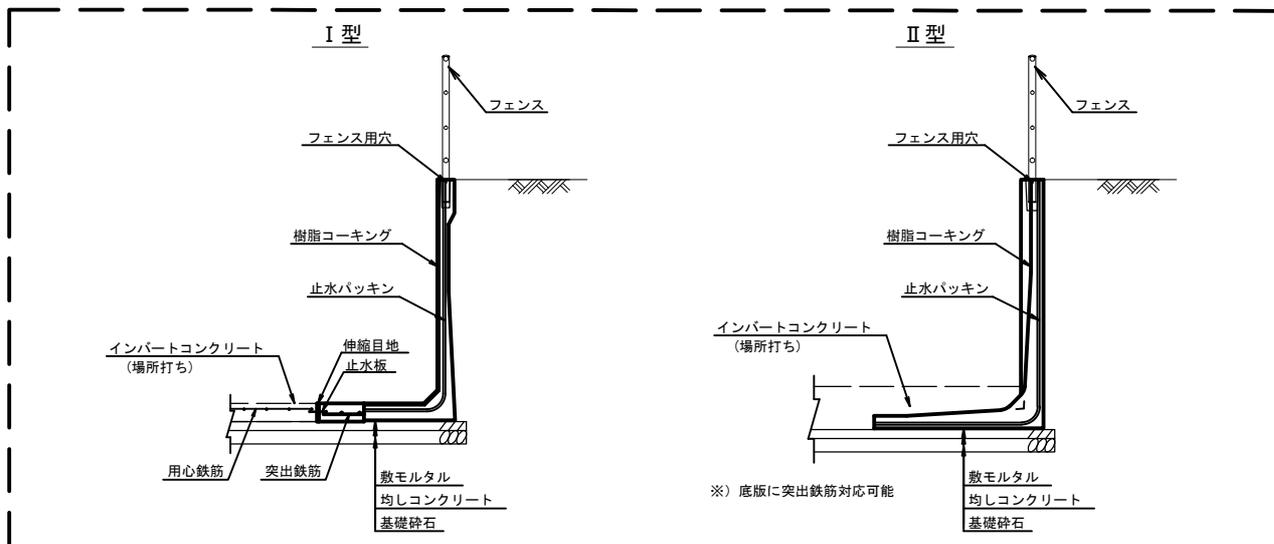
呼び名	タイプ	鉄筋 (径-本数)							
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
1000	A, B	-	D10-8	-	D10-8	D 6-8	-	D13-10	-
1500	A, B	-	D13-10	-	D10-8	D 6-11	-	D13-12	-
2000	A	-	D16-12	-	D10-8	D10-12	-	D16-10	-
	B	D16-14	D16-12	D13-8	D10-8	D10-12	D 6-4	D16-14	-
2500	A	D13-12	D16-12	D10-8	D10-8	D10-20	D 6-3	D19-10	-
	B	D13-12	D16-12	D13-12	D10-8	D10-20	D 6-3	D19-10	D16-10
3000	A	D16-10	D16-14	D10-8	D10-8	D10-25	D 6-4	D19-12	-
	B	D16-12	D16-14	D16-12	D10-8	D10-29	-	D19-12	D16-12

注) 底版現場打部の配筋筋は、現場にて配置する。

呼び名	タイプ	鉄筋 (径-本数)				
		①	②	③	④	⑤
1000	フェンス用穴有	D10-8	D10-4	-	D10-8	D10-9
	フェンス用穴無	D10-8	D10-4	-	D10-8	D10-9
1500	フェンス用穴有	D10-8	D10-4	-	D10-8	D10-11
	フェンス用穴無	D10-8	D10-4	-	D10-8	D10-11
2000	フェンス用穴有	D13-8	D10-6	D10-8	D10-8	D10-19
	フェンス用穴無	D13-8	D10-6	D10-8	D10-8	D10-19
2500	フェンス用穴有	D16-6	D13-4	D13-8	D13-8	D10-23
	フェンス用穴無	D16-6	D13-4	D13-8	D13-8	D10-23
3000	フェンス用穴有	D16-8	D16-4	D13-8	D13-8	D10-29
	フェンス用穴無	D16-8	D16-4	D13-8	D13-8	D10-29

注) 呼び名1500以下は、シングル鉄筋の配置である。

参考図表



特記事項

- ・ I 型は、 $\sigma_{ck}=40\text{N/mm}^2$ 以上。II 型は、 $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 製品継手部は、止水パッキンおよび樹脂コーキングにて止水性を有する事。
- ・ 鉄筋は、SD295AまたはSD345とする。